

運輸安全マネジメント2014 総括

はじめに

当社は、2013年末より、当、運輸安全マネジメントに初参画いたしました。

意気込み高く掲げ、前向きに取り組むべく進めてまいりましたが、昨今のバス業界を取り巻く様々な法令改正やそれに伴う輸送量、受注形態の変動が、予想外に、内部的或いはお客様へ向けた取り組みなどに至急な時間を割いたこと、さらには、初めての取り組みが故の理解、意識不足もあり、なかなかその全てを非常に遺憾ではありますが、順調に全うするには至りませんでした。

ただ、それでも立ち止まっているわけにはいかず、この取り組みに初参画したがゆえに得られたもの～安全意識への高まりや今一度深く考えるといったことを大切に、「今この会社でどこまで(量) > 出来るか」「今この会社で何が不足しているのか(質)」が初年度で見えてきただけでも大きな収穫で、これをさらに向上させるために「もうワンステップの「自分たちの可能な目標」」を設定し、運輸安全マネジメント2015年を、新たな気持ちで社員一丸となって取り組んでいけたらと考えております。

有限会社 江南観光社 あいみんBUS
代表取締役社長 加藤 徳弥

① 組織及び人員、等総括

組織については、年度内に変更事項などはありませんでした。

また、人員数などについては下表の通りとなっております。

車種による送迎案件主流になりつつある受注形態の変化に対応するべく、今後は突発乗務可能な乗務員の人数確保が早急な課題となると想定されます。

職安などの活用も余り効果が見られない事、自社養成・育成が現状では難しいため、今後は乗務員による紹介やバス会社OBなど即戦力者の確保に努めないといけないと考えます。

| | 2013年末 | 2014年度末 |
|---------------|--------|---------|
| 統括運行管理者 | 1 | 2 |
| 運行管理者 | 1 | 0 |
| 運行管理補助者 | 0 | 2 |
| 整備管理責任者(有資格者) | 2 | 2 |
| | | |
| 正社員運転士 | 4 | 4 |
| 専属契約運転士 | 2 | 2 |
| | | |
| 内勤運行事務員 | 2 | 1 |

←関係機関等の助言指導により運行管理者を1名統括運行管理者へ

←正社員1名は2014年度内に1名欠員、1名補充

③ 輸送の安全に関する情報の公開方法及び記録保存の方法についての2014年度状況、結果

外部公開用及び内部保管用に同じものを用意しました。但し、個人情報保護の観点より、1社員個人名が記載してあるものは内部用のみとします。

公表時期は毎事業年度経過100日後までとなっております。

弊社の事業年度としては毎年7月末締めではありますが、一般通説的な情勢を踏まえ、年度末を3月末とし、公表めどを5月末までにいたします。

公表事項は、弊社安全管理規定17条に基づき、輸送の安全に関する基本的な方針、輸送の安全に関する目標及び当該目標の達成状況、自動車事故報告規則第二条に規定する事故に関する統計、安全管理規程、輸送の安全のために講じた措置及び講じようとする措置、輸送の安全に係る情報の伝達体制及びその他の組織体制、輸送の安全に関する教育及び研修の実施状況、輸送の安全に関する内部監査の結果並びにそれに基づき講じた措置及び講じようとする措置、安全統括管理者に係る情報についてを原則とします。但し必要に応じて当該以外の情報も積極的に公開を致します。

公表に当たっては、毎年同様の基本骨子(テンプレート)に数値及びコメントを記載していく形で行います。

公開の方法は、弊社ホームページからのリンクを基本とし、作成物においては常時プリントアウト可能とし、印刷物としても提供、保管できるものとする。(公開は個人情報保護法などを考慮した範囲内で行います)
また、印刷物1部を運行管理保管として常時閲覧可能な状態にしております。

記録に関しては、適宜行うものとし、PCにおいてデータ保管する。また、必要、然るべき監督省庁等からの指示要請があった場合は速やかに提出及び現状の閲覧が可能な状況で保管します。

保存については各種運行管理書類と同様の扱いとし、保存期間を3年と定めます。(期限:2018年度まで)

④ 輸送の安全に関する費用支出及び投資の計画及び実施

これにつきましては、実績値概算を掲載いたします。

- ①…全車に「ドライブレコーダー」及び「デジタルタコグラフ」を搭載。また、GPSを備えており、事務所PCよりの動態管理並びに運行状態把握を可能にしました。
- ②…安全マネジメント講習会など各種セミナーの参加を行いました。また、新たに運転士2名を運行管理者講習受講させ、運行管理への更なる理解と、将来の管理者登用へのステップとしました。
- ③…その他、燃費(環境)、装備的(安全)を考慮し、経年車を1台入替し、新基準に適合した車両に代替をしました。

2013年度(2014年1月～2014年3月)までの実績概算値は以下の通りです

単位:千円

| | 項目 | 予算額 | 備考 | 実績額 |
|---|--------------|-------------|---------------------------------------|-------------|
| ① | 車両・運行管理支援設備費 | 1000 | デジタコなど運行管理システム導入 等 | 3000 |
| ② | 乗務員対象 教育・研修費 | 50 | 外部指導員招聘によるセミナー参加 等 | 0 |
| ③ | 管理者対象 教育・研修費 | 30 | 組合主催会議参加、外部セミナー参加 運行管理者セミナー等 | 360 |
| ④ | 法定管理費用 | 20 | 初任診断・健康診断費用 等 | 50 |
| ⑤ | 車両整備・整備管理費 | 30 | 外部講師による整備講習開催や特別整備費用 等 | 0 |
| ⑥ | その他 | 2000 | 第二車庫設置費用・車庫事務所内再整備費用、交通安全運動ワッペンなど購入 等 | 5000 |
| | 予算額合計 | 3130 | (事業用車両購入や人件費に関わるものは含まれません) | 8410 |

2014年度(2014年4月～2015年3月)までの実績概算値は以下の通りです。

単位:千円

| 項目 | 予算額 | 備考 | 実績額 |
|--------------|------------|-------------------------------|------------|
| 健康管理特別費 | 80 | 外部講師による研修会開催及びインフルエンザ予防接種補助 等 | 70 |
| 乗務員対象 教育・研修費 | 120 | 安全運転講習、各種教材購入 等 | 20 |
| 管理者対象 教育・研修費 | 60 | 組合主催会議参加、外部セミナー参加 運行管理者セミナー等 | 10 |
| 法定管理費用 | 60 | 初任診断・健康診断費用 等 | 70 |
| 車両整備・整備管理費 | 100 | 外部講師による整備講習開催や特別整備費用 等 | 0 |
| その他 | 40 | 交通安全運動啓発掲示物等購入 等 | 20 |
| 予算額合計 | 460 | (事業用車両購入や人件費に関わるものは含まれません) | 190 |

⑤ 輸送の安全に関する内部監査体制及び実施実

輸送の安全に関する内部監査を毎年6月に実施するものとします。

輸送の安全に関する内部監査を毎年9月に実施するものとします

これは、運輸安全マネジメントに基づいて適正に事業運営がなされているかを確認するものであり、自助努力により、未然防止及び再発防止に努めるためのものであります。

但し、重大事故や緊急事案が発生した場合はこの限りではなく特別内部監査を速やかに行うものとします。

尚、会社構成人員が少数の為、内部監査に関しては、経営者に対し、運転士及び内勤者より各1名が代表して監査を行うものとします。

監査趣旨、内容に関しては以下の通り…

1. (定期)内部監査

(1) 監査目的

運輸安全マネジメント体制の確認

(2) 被監査部門

イ 有限会社江南観光社あいみんBUS 経営最高責任者及び安全統括管理者並びに経営管理全般

ロ 本社営業所

ハ 本社車庫及び付随施設

(3) 監査項目

イ 安全に関する指導・教育方法の確認

ロ 各種帳票類の状況の確認

ハ 本年度計画についての進捗の確認

ニ その他

(4) 実施内容

イ 従業員に対して適切な指導・教育がなされているかの確認

ロ 経営トップが積極的に参加しているか、また圧がないか等のヒアリングによる確認

ハ 必要書類の保存・整理・記録が適正でかつ管理・保管が正しくなされているかの確認

(5) 監査結果

表にしてこれを公表します(施行以降年度で実施)

(6) 特別監査及びフォローアップ監査

特別監査についてはその目的、項目、内容、結果を別表にて公表します。また、定期監査及び特別監査で指摘事項が発覚された場合は継続してフォローアップ監査による状況追跡、改善確認を行うものとし、これについても表により公表します。

(2014)年度通常内部監査結果表

| | |
|--------|--------------------|
| 日 時 | 2014 年 9 月 11～12 日 |
| 場 所 | 江南観光社あいみんBUS布袋営業所他 |
| 監査実施者名 | 坪内 義樹 |

| 監査項目 | | 監査結果(指摘事項) | 再監査の必要の有無 |
|---|------------------|---|-----------|
| イ | 安全に関する指導・教育方法の確認 | 毎回のレジメ等用紙媒体などでの記録を残すこと。 | 次年度 |
| ロ | 各種帳票類の状況の確認 | 特に問題なし | なし |
| ハ | 本年度計画についての進捗の確認 | 乗務員適正人員及び運行管理適正人員を早急に確保または改善し、偏向のない労働分担の為の採用計画を検討する。 | 次年度 |
| ニ | その他 | 無理のない計画をする事。 安全意識を経営者が軸となり全員が持つ。また、基本となる規則や法令を「知っている」のに客都合とい い守らない事についての対策が必要で、経営者はじめ社員全員の安全・教育への責務がやや希薄または統一認識化されていないように思える。 | 次年度 |
| ～ 総括 ～ | | | |
| <p>予定通りにはいかない面もあり、まずは可能なことを無理の無い様に計画、実行をすす事と、各役割分担の明確化、分散化、固定化が基礎となると見受けられます。また、経営者の積極参加も再度求めるところです。アマネ担当者の養成、研修を行い、第三者的な立場の者が監査などを行うように確立していくことが今後の課題といたします。</p> | | | |

⑥ 事故・災害が発生した場合における緊急連絡体制

緊急連絡体制機能の総括

本年度中は、5件の対応事項が発生していましたが、何れもこの体制を使用し、スムーズに対応出来、何れも軽微な事案であったこともあり、お客様への影響なども最小限にとどめることが出来たと思います。
今後への課題としては、担当者が休みなどで不在の際の次対応的なポジションの人材の構築ではないかと思われま

す。

⑦ 輸送の安全に関する連絡体制及びその方法

安全マネジメントMTG 開催の記録表

2013年度

| | 1月 | 2月 | 3月 |
|--------|----|----|----|
| 経営者 加藤 | 7 | 18 | 29 |
| 課長 坪内 | 7 | 18 | 29 |
| 運転士 黒田 | 7 | 18 | 29 |
| 〃 岩谷 | 7 | 18 | 29 |
| 〃 真鍋 | 7 | 18 | 29 |
| 〃 長谷川 | | | |
| 〃 峰松 | | | |

2014年度

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|--------|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|
| 経営者 加藤 | 11 | 2 | 21 | 21 | 10 | 13 | 8 | 22 | 27 | 30 | 12 | 13 |
| 課長 坪内 | 11 | 2 | 21 | 21 | 10 | 13 | 8 | 20 | 27 | 30 | 12 | 13 |
| 運転士 黒田 | 11 | 2 | 21 | 21 | 10 | 13 | 8 | 20 | 27 | 30 | 12 | 13 |
| 〃 岩谷 | 11 | 2 | 21 | | | | | | | | | |
| 〃 真鍋 | 11 | 2 | 21 | 21 | 10 | 13 | 8 | 22 | | | | |
| 〃 長谷川 | | 2 | 21 | 21 | | | | | | | | |
| 〃 峰松 | | 2 | 21 | 21 | 10 | 13 | 8 | 20 | 27 | 30 | 16 | 13 |
| 〃 中村 | | 2 | 21 | 21 | 10 | 13 | 8 | 22 | 27 | 30 | 16 | 13 |
| 〃 吉澤 | | | | 21 | 10 | 13 | 8 | 20 | 27 | 30 | 16 | 13 |

総括

| | |
|--|--|
| | |
|--|--|

稼働の状況や休暇申請状況により、職場集会を最優先にすることは難しい事であると改めて感じました。2班に分けると、全体より効果が薄く感じられる為、少人数の企業であるために、コミュニケーションをより密にするため、やはり全員で集まる事が大切であると考え、今後は毎月ではなく、たとえば各四半期ごとやシーズンオフ時期に集中して設定をするような形も模索していくことが必要であると考えます。

⑧ 輸送の安全に関する教育及び研修に関する具体的な実施実績

- ① 運動行事・キャンペーンに即した行動
交通安全運動期間中は、社建屋外向きに垂れ幕の掲出、社内外にポスター貼付及び各乗務員にワッペンの貸与
また、点呼時に、各運動に即した点呼指示を特別に行い、社長による点呼、出庫誘導も行いました。
- ② 会社主導による指導、教育
新人へベテランドライバーより、礼儀作法及び接客の講習を行ったほか、チェーン実習なども行いました
事故惹起者や健康に不安なものに関しては、運行管理者とのヒアリングを行い、適正も含め厳しく考察を行いました
- ③ 外部による指導、教育
外部機関による医師(カウンセラー)を招き、疾病などがある乗務員に対し、乗務可能かどうかのヒアリングを行っていただきました
外部委託先の整備工場へ赴き、車両構造及び緊急時等における自分でも対応可能な修理、日々の整備方法についての
講習を受講しました
- ④ 訓練及び対応教育
火災、事故などの非常時並びにバスジャックに冷静に対応する為、各種マニュアルを手に入れ、全員に周知すべく配布しました
また、消火器や発煙筒、ドラレコによる緊急報告方法などについても確認をしております

総括

大手企業のように、多人数で行っているものではないため、各種セミナー、会議などに積極参加は出来ず、また、多大な予算を投資できる余裕もまだまだの為、外部からの招聘もままならない状況です。しかしながら、少数企業であるがゆえに、チームワークがしっかりしており、お互いに風通しの良い会社の社風もあり、指導しあう体制が出来ているので、経験不足の事案を持つ社員に対しては経験者が即時に教育でき、フォローできる体制は出来ています。今後は、各取組、指導をされた事柄を「PDCA」サイクルに沿い、次への問題点、解決策を正しい方向へ回転していけるような、記録作成やそれに向けた投資などを行っていかれたらと考えます。

⑨ 輸送の安全に関する目標の策定及び年度ごとに目標に対する成果評

1. 輸送の安全に関する基本的な方針

「基本方針」

1. 経営トップは、輸送の安全の確保が事業経営の根幹であることを深く認識し、社内において輸送の安全の確保に主導的な役割を果たす

また、現場における安全に関する声に真摯に耳を傾けるなど現場の状況を十分に踏まえつつ、社員に対し輸送の安全の確保が最も重要であるという意識を徹底させる

2. 輸送の安全に関する計画の策定、実行、チェック、改善（PDCA）を確実に実施し、安全対策を不断に見直すことにより、全社員が一丸となって業務遂行することにより、絶えず輸送の安全性の向上に努める。また、輸送の安全に関する情報については、積極的に公表する

～安全に関する基本理念～

<安全は全てに優先する>

我々は、御客様（ゲスト）を法令順守の下、「安全」に、かつ「安心」「快適」に輸送する（おもてなしをする）ことが最大の使命です

<安全方針>

1. 観光送迎問わず輸送サービスを提供するすべての場面においてお客様の安全を最優先します

2. 安全に関する各種法令・社内規則を順守します
3. 重大事故、飲酒運転、無免許運転、整備不良運転を撲滅します
4. 輸送の安全に関する費用および投資を積極的かつ効率的に行います
5. 輸送の安全に関する内部監査を行い、積極的な予防、問題点の抽出、改善を行います
6. 輸送の安全を確保するための社員教育及び研修・管理・コミュニケーションの強化に努めます
7. 輸送御安全に関する情報の連絡体制を確立し、よりスピーディかつ確実に必要な情報の共有に努めます
8. 旅行会社、輸送申込責任者様に輸送の安全に関する法令、当社のポリシー、施策を理解していただき、相互が密接に協力し輸送の安全と更なる向上に努めます
9. 他社がやらないことであっても、安全向上に寄与するものであれば、率先して行動をし、安全こそが最大の差別化であるという認識のもと常に向上心を持って務める
10. 安全に関するアクションに「恥ずかしい」「当たり前」「必要ない」は無く、その一挙手一投足は常に後

2. 2013/2014年度の重点目標

～車内事故の撲滅～

- ① バスがアクションをおこす「前」に客席に「一声かける」
- ② 客席シートベルトの着装を確認
- ③ 指差確認はお客様が安心して乗車できるパフォーマンス～大げさでもワンアクションで确实チェック～
- ④ 危険個所では、一旦停止や降車して目視確認～ミラーやカメラだけに頼らない～少しでも不安な場合は面倒がらずにまずアクションで安心行動
- ⑤ 他の交通の流れ、動きに細心の注意を払う運転を行う
- ⑥ 天候や道路情報など先を予見した運転を行う
- ⑦ ヒヤリ・ハットをしない、させない運転を行う

3. 基本の方針及び目標に対する達成状況

2013～2014年度に設定しました目標などに対する達成状況は以下の通りです

| 基本目標事案 | 達成状況 | | |
|-----------------------|------------------|--------|--------|
| | 参考)2013年度(12月まで) | 2013年度 | 2014年度 |
| 1 飲酒運転、無免許運転、整備不良運転撲滅 | 0件 | 0 | 0 |
| 2 死亡事故・重大事故ゼロ | 0件 | 0 | 0 |
| 3 交通事故件数の減少 | 2件 | 0 | 0 |
| | | | |
| 年度目標事案 | 参考)2013年度(12月まで) | 2013年度 | 2014年度 |
| 1 車内事故撲滅 | 0件 | 0 | 0 |
| 2 指摘・クレーム事案の減少 | 4件 | 0 | 0 |
| 3 ヒヤリ・ハット事案の減少 | 5件 | 0 | 0 |

4. 総括

比較的温和で安定した乗務員に恵まれたおかげで、車内事故、目立った指摘、クレームや大きなヒヤリハット事案(ドラレコによる急加速、急減速事案等)が無く、概ね、方針通りに行動されていると思われ、ただ、アクションを起こすことを「恥ずかしい」と思う傾向は持っていると思われ、また、注意力散漫からの冷静な行動(アクション)の欠如も散見されていることから、次年度も引き続いての継続的な基本行動への忠実な積み重ねが求められると思われ。

⑩ 所期の目的を達成するための必要となる人材育成のための教育及び研修に関する具体的な計画の策定及びその実施実績

総括

運送協同組合主催の会議へはすべて参加し、各種情報を入手し、それを生かすことが出来ました。その他については時間的、職務的制約からなかなか参加をする事が出来ず、また、今年度はバス代金等の法令改正が重なって、注力部分の方向性が異なっていたことが少数経営の大きな負担になっていったのも事実です。今後、運行及び教育をさらに内容を確実かつ濃いものにしていくには、運転士の補充だけでなく、内勤バス担当の人員の補充(専門知識を有するもの)が、早急な課題であると考えます。